

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(1/13)

## ■目次 ～イギリス～

### 1. 基本調査

#### ①基礎情報

#### ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

### 2. 重点調査分野(11テーマ)

## 11重点分野リサーチ状況

サービスデザイン/UIUX	★	デジタルデバイド	★	共同利用・共同調達	○
データ利活用	○	官民共創	★	デジタル予算	○
行政サービスのデジタル化	○	新技術 (AI、メタバース)	○	スマートシティ	○
サイバーセキュリティ	○	人材育成・確保	★		

★・・・都が特にベンチマークすべき事例あり、○・・・情報あり、－・・・情報なし

## 1-①基礎情報

国名	イギリス
面積 (km)	243,000
人口 (万人)	6,708
首都	ロンドン
主要言語	英語(ウェールズ語、ゲール語等使用地域あり)
宗教	キリスト教(福音ルーテル派)
GDP (10億米ドル)	3,200 ※IMF 22年10月時点
ランキング (電子政府)	11位(国連2022年)、6位(早稲田2022年)

元首	チャールズ三世国王陛下
議会	上院及び下院の二院制
政府	エリザベス・トラス首相(保守党)
政体	立憲君主制
主要産業	自動車、航空機、電気機器、エレクトロニクス、化学、石油、ガス、金融
通貨	スターリング・ポンド
国民文化	－
参考	<a href="#">イギリス基本情報(外務省)</a>

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(2/13)

## 1 - ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

	名称	概要	拠点	ソース・サイト
施策	UK Digital Strategy	英国が科学技術大国としての世界的な地位を確立するためのロードマップ。世界に通用するデジタルインフラを英国全土に展開し、国内企業が新しい技術の導入を通じて国際的な技術ガバナンスシステムに協力することで、継続的なデジタル成長を目指す。	-	• <a href="#">詳細記事</a>
基盤	Gov.uk	政府サービスへの単一のアクセスポイントを提供するために開発した、公共部門の情報ウェブサイト。このシステムを基軸とし、Gov.UK Verify、Gov.UK Notifyなど拡張を続けている。	-	• <a href="#">公式ホームページ</a>

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(3/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –サービスデザイン / UI・UX

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

政府全体からユーザー中心のデジタルサービスを作成するのに役立つ最新の研究、デザイン、開発などの情報を集約。

**GOV.UK Design System**には、政府内のチームがユーザー中心のデジタルサービスを作成するのに役立つ、スタイル、コンポーネント、パターンが含まれている。

#### 参考

- [GOV.UK Design System公式ホームページ](#)
- [GOV.UK Design Systemの紹介\(イギリス政府\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

GOV.UK Design Systemの主なメリットは以下のとおり。

- **全てを一つの場所に集約**：共通の課題に対する一貫したソリューションに迅速かつ容易にアクセスが可能。
- **使いやすさを追求**：コンポーネントとパターンの使用に関するガイドは、シンプルで一貫したフォーマットに従って作成され、コンポーネント等がどのように機能するかを確認し、そのまま利用できるようにサンプルが掲載されている。
- **アクセシビリティの高いコード**：既存のCSSやJavaScriptに干渉しない設計となっており、最初から包括的なサービスの設計を可能にする。
- **完全サポート**：デザインシステムとそのすべてのコンテンツは、Government Digital Service (GDS)の専門チームがサポート
- **コミュニティ主導**：コミュニティバックログで、チームや個人が新しいスタイル、コンポーネント、パターンを提案し、既存のものに貢献し、他の人が取組んでいるものを閲覧可能とする。

#### 参考

- [GOV.UK Design System公式ホームページ](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(4/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –データ利活用

Plan & Strategy

事例

概要

中央政府、地方自治体、公共団体が公開している、製品やサービス開発に役立つデータの閲覧が可能。

Data.gov.uk(イギリスのデータポータル)を利用して、以下のことが可能。

- 出版社、トピック、ファイル形式によるデータのフィルタリング。
- ビジネスと経済、政府、町と都市、交通、政府の支出など、各分野に関するデータを見つけることが可能。

参考

- [data.gov.uk](https://data.gov.uk)公式ホームページ

取組  
概要

※着手中含む

-

参考

-

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(5/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) ー行政サービスのデジタル化

Plan & Strategy

事例

概要

公共サービスは、自動化やAIの使用など、過去10年間で多くのデジタル改革を遂げてきた。

政府全体のデジタル改善には、One Login for Government(ログイン認証システム)の開発、ソーシャルケアシステムにおけるデータの活用などがある。

参考

- ・ [英国のデジタル戦略\(イギリス政府\)](#)

取組  
概要

※着手中含む

- ・ **Making Tax Digital(MTD)プログラム**：  
歳入関税庁は、企業が回避可能なエラーを減らし、正しく納税できるように支援するとともに、是正の利用体験を向上させる取組。

参考

- ・ [英国のデジタル戦略\(イギリス政府\)](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(6/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –サイバーセキュリティ

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

National Cyber Strategyのビジョンは、2030年の英国が、国家目標を達成するために、サイバースペースで自国の利益を保護し促進することができることを目標とし、以下を定めている。

- 犯罪や詐欺、国家の脅威から市民を守るためにサイバー能力を活用する。
- 革新的で豊かなデジタル経済、そして国全体と多様な国民により均等に機会が与えられること。
- 環境と健康に配慮した社会を支える革新的な技術を実践的に利用する。
- サイバースペースにおける行動の自由を維持しながら、オープンで安定した国際秩序の将来のフロンティアを形成する。

#### 参考

- [National Cyber Strategy2022\(イギリス政府\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

National Cyber Strategyのために以下5つの優先的アクションを設定し、これに基づき戦略を実行。

- 英国のサイバーエコシステムの強化、人材とスキルへの投資、政府・学術・産業界間のパートナーシップの強化。
- レジリエントで豊かなデジタルUKを構築し、サイバーリスクを低減することで、企業はデジタル技術の経済的利益を最大化でき、市民はオンラインでより安全に、個人のデータが保護されていることを確信できる。
- サイバーパワーに不可欠な技術をリードし、産業能力を構築し、将来の技術を確認するための枠組みを開発する。
- より安全で豊かで開かれた国際秩序のために、英国のグローバルなリーダーシップと影響力を促進し、政府や業界のパートナーと協力し、英国のサイバーパワーを支える専門知識を共有する。
- 敵対勢力を検知、破壊、抑止し、サイバースペースにおける、そしてサイバースペースを通じての英国の安全保障を強化する。

#### 参考

- [National Cyber Strategy2022\(イギリス政府\)](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(7/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –デジタルデバイド

### ■概要

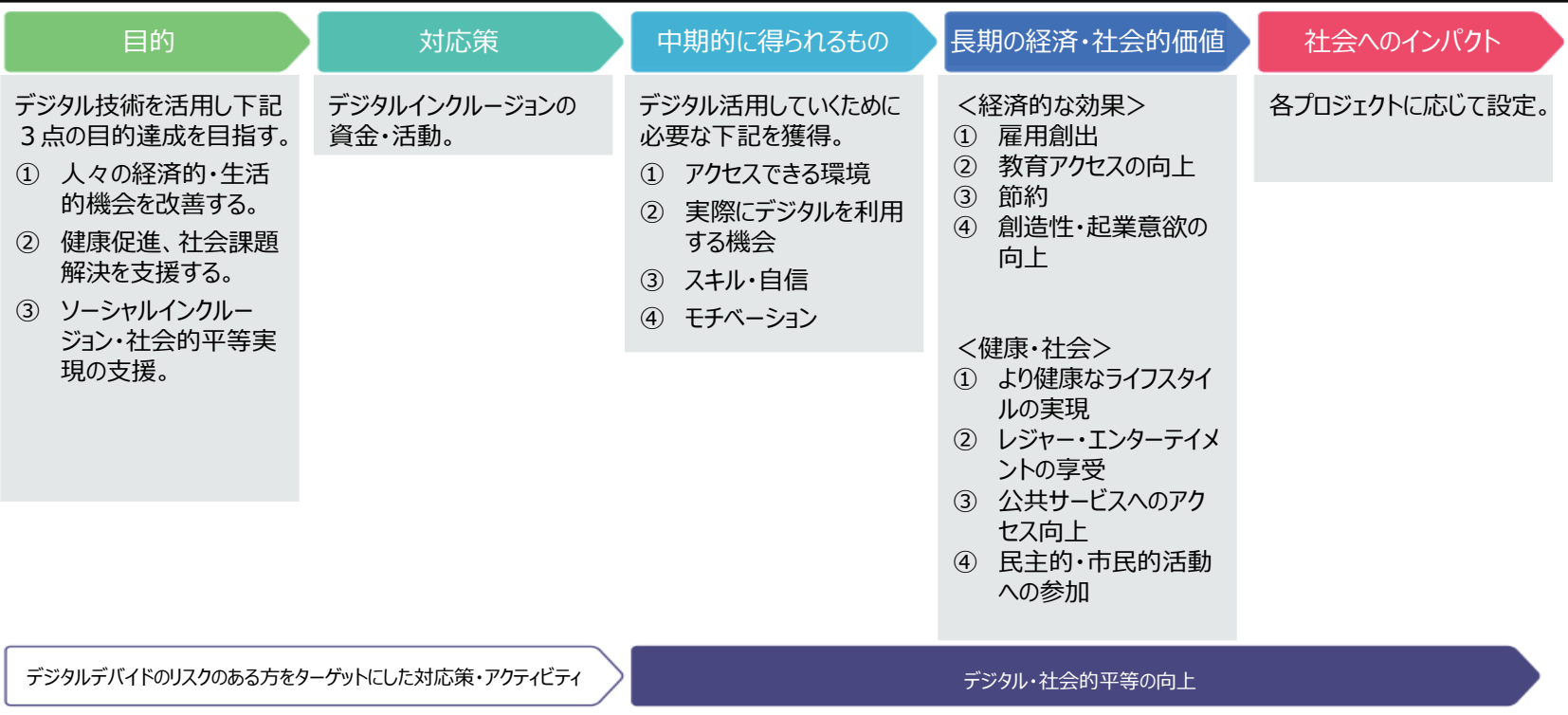
背景：英国の成人5人に1人はオフラインのままであるか、オンラインであることの利点を享受することができるデジタルスキルを持たずデジタルデバイドに直面していた。

目的：デジタルインクルージョン活動が地域の優先事項とニーズにどのように貢献しているかを示し、**国・自治体のデジタルインクルージョンの取組の貢献を可視化。**

成果：デジタルデバイドの解消及び社会的平等の向上。

所管部：英国政府 デジタル・文化・メディア・スポーツ省

### デジタルインクルージョンのフレームワーク(UK)



UKでは、**公共・民間・ボランティアセクターの組織と協力したデジタルデバイドのサポートプログラム**も存在。各組織での効果もフレームワークに沿って評価している。

### <官民連携したサポート>

#### ①英国デジタル憲章企業・団体からのサポート

BBC、Google、Accenture、Vodafoneなど95の民間企業・団体が登録し、デジタルインクルージョンの取組を支援。

#### ②Go On UKのパートナーシッププログラム

各地域のブロードバンド配信プロジェクト、成長ハブ、地元企業パートナーシップ、ビジネス支援機関などの地元のパートナーと協力することにより、中小企業に対するデジタルサポートを構築。

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(8/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) -官民共創

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

テックリードを実現するためにすべてのビジネスセクターにおいて、デジタル技術の導入を促進。具体的な政策は右記に記載。

#### 参考

- [Budget 2021\(techUK\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

- **中小企業へのデジタル導入援助**：資金繰りに苦しむ中小企業を金融優遇措置で支援する。また、**CDO（Chief Digital Officer）クレジットにより、必要なテクノロジーの導入を支援**。既存の導入企業は、生産性を向上させるデジタルサービスの組み合わせの利用を進める。
- **スキルプラットフォーム**：政府が支援するスキル・プラットフォームと改革により、雇用創出を促進。
- **法人税制度**：地域の技術クラスター・グループを支援し、デジタルサービスの取り込みが阻害されないよう逆進性の高い税制。

#### 参考

- [Budget 2021\(techUK\)](#)



# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(9/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –新技術(AI・メタバース等)

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

AIの活用を支援し、適切なインフラを構築し、官民によるAI技術の導入を促進するために、3つの新組織を設立。

#### 要点

3つの新組織は、以下のとおり。

- AI Council
- Office for AI
- Center for Data Ethics and Innovation

#### 参考

- [A guide to using artificial intelligence in the public sector\(Government Digital Service\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

#### ■ 組織

- **AI Council** : 独立したメンバーで構成される専門委員会。AI Sector Dealの実施についてリーダーシップを発揮する。
- **Office for AI** : 産業界、学术界、サードセクターと連携し、英国のAI戦略の実施を調整・監督する。
- **Center for Data Ethics and Innovation** : AIの開発が安全で倫理的かつ革新的であることを確認するために必要な措置を特定するデータ倫理とイノベーションのためのセンター。

#### ■ AI活用事例

- AI とドローンを活用し電線や鉄塔のメンテナンスを実施。
- Driver and Vehicle Standards Agency (DVSA)がAIを活用してMOTテストを改善。
- 衛星画像を利用した人口推定。

#### 参考

- [A guide to using artificial intelligence in the public sector \(Government Digital Service\)](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(10/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) ー人材育成・確保

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

政府がデジタル技術を活用し、国民経済の成長を促進するために制定した戦略、UK Digital Strategyの中に人材育成について規定。

#### 参考

- [英国のデジタル戦略\(イギリス政府\)](#)

#### 取組概要

※着手中含む

- **Local Digital Skills Partnerships** : 雇用主、地域の大学、地域の公共部門やトレーニングプロバイダーを集め、ターゲットを絞ったデジタルスキル・プログラムを開発。
- **Heart of the South West Partnership** : イギリス南西部にあるデボン、サマセット、プリマス、トーベイで合計8,000人のスキルを向上させ、地域のニーズに合わせたプログラムを立ち上げ、運営するための追加スキル投資として3万ポンド以上を確保。

#### 参考

- [Skills for Jobs: Lifelong Learning for Opportunity and Growth \(イギリス政府\)](#)

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(11/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –共同利用・共同調達

Plan & Strategy

事例

概要

公共部門の調達は、毎年約3,000億ポンドで、公共支出全体の約3分の1を占めている。国家調達方針声明にあるように、この大きな力を使って、中小企業を支援し、イノベーションを促進。

参考

- [英国のデジタル戦略\(イギリス政府\)](#)
- [Joint Procurement Strategy \(Aberdeen City Council, The Highland Council, Aberdeenshire council\)](#)

取組  
概要

※着手中含む

参考

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(12/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –デジタル予算

デジタル 関連予算額	■ 2023年度（2023年4月～2024年3月）のICT関連歳出見込み 約 <b>2,014億5,000万円</b> （12億5000万ポンド / 1ポンド=161.05円換算）
注力 ポイント	■ 主な予算用途 ① <b>スーパーコンピュータ構築及びAI研究の推進</b> ：約 <b>1,449億2700万円</b> （9億ポンド） スーパーコンピュータを利用したAI研究により、気候変動予測、新薬開発等のAI能力を最大限の活用を推進。 ② <b>量子コンピュータの開発・研究</b> ：約 <b>402億5,800万円</b> （2023年度～2032年度の10年間総額 25億ポンド） ③ <b>革新的プロジェクトである大学研究助成（量子コンピュータ研究、医療技術）</b> ：約 <b>161億300万円</b> （1億ポンド） ④ <b>AI分野における進歩的な研究者への助成</b> ：約 <b>1億61,00万円</b> （2023年度～2032年度 毎年 100万ポンド） ⑤税理士が雇用主に代わって給料計算を行い、現物支給を行うためのITシステムの開発・提供。  ■ デジタル戦略2022-2025の6つの柱 ・公共サービスの変革：政府が選定した上位75サービス中50サービスの業務効率向上。 ・1ログインですべての政府サービスへアクセスできる仕組みにする。 ・データ資産の政府全体共有及び民間への公開。 ・資産共有による効率化（政府共通コード、パターン、アーキテクチャー等）、全部門でのセキュリティ強化。 ・デジタルスキルを評価するフレームワークを利用した人材オファー強化、労働力全体のデジタルスキル向上。 ・政府の省庁連携によるDX推進。
総予算に占める デジタル関連 予算割合	■ 2023年度の国家歳出予算 約191兆4,885億円（1兆1,890億ポンド /1ポンド= 161.05円換算） ■ ICTの占める割合： 約1%
参考	・ <a href="#">2023年度イギリス国家歳出予算案骨子(TRADING ECONOMICS)</a> ・ <a href="#">SPRING BUDGET 2023(イギリス政府)</a> ・ <a href="#">Transforming for a digital future /2022-2025 roadmap for digital and data(イギリス政府)</a>

※ 1) ICT関連の年度総額費用は「注力ポイントの■ 主な予算用途」の合計額を記載。（複数年予算の項目は年数で割った平均値を年間予算として計上）  
ICT関連については、複数省庁や業務予算に含まれている場合もあり、主な予算用途に記載している以外の項目がある可能性があります。

# 1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～イギリス(13/13)

## 2.重点調査分野(11テーマ) –スマートシティ

### Plan & Strategy

### 事例

#### 概要

The Parliamentary Office of Science and Technology（科学技術政務官事務所）が、イギリスにおけるスマートシティの戦略の策定を主導している。

スマートシティ化を促進させることによって、生産性の向上、雇用の創出、安全の担保、環境への配慮を目的としている。

#### 参考

- [スマートシティ戦略（The Parliamentary Office of Science and Technology）](#)

#### 取組概要

※着手中含む

- **グラスゴー・オペレーション・センター（Glasgow Operations Centre）**：交通・公共のCCTVと交通を融合させた安全管理システム管理、セキュリティシステム、警察情報などを都市全域の事件へのリアルタイムな対応をサポート。
- **スマートな街灯**：消費電力が68%削減。
- **トラベルアプリ**：徒歩や自転車での移動に便利なルートを計算。収集したデータは、市議会へ情報提供される。

#### 参考

- [スマートシティ戦略（The Parliamentary Office of Science and Technology）](#)